



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第13号
令和3年 6月21日

なぜ、税金は必要なのでしょう？ ～6年生 租税教室～



今、社会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために不要不急の外出をしないことやマスクの着用を心掛けています。国や都道府県、市町村では、感染防止に協力した店舗や企業に協力金の支給を行うなど支援策に取り組んでいます。また、ワクチンの接種も進めています。

これらの対策費は、全て税金で賄われています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために何をするのか、そしてそのためにどのくらいのお金を使うのかを決めているのは、私たちが選挙で選んだ議員が議会で決めています。

6年生の社会科では、「国民の権利及び義務」について学習します。国民の権利については、選挙権など、政治に参加する権利が国民に保障されていることについて学びます。国民の義務については、納税の義務について取り上げ、税金が国民生活の向上と安定に使われていることについて学びます。

今回、ゲストティーチャーとしてお呼びした方々は、八千代市租税教育推進協議会の方々です。授業の冒頭で、もし税金なかったら社会はどうかについてアニメを見せていただきました。アニメの中の税金のない世界では、次のようなことが起きていました。

- 火事になったときに係る消火費用やけがをしたときの救急車要請は、個人負担になる。
- 道路はいたるところで破損が進み、個人の道路では、通行料を払わなければならない。
- 街から公園はなくなり、子どもたちの遊び場が失われていく。
- 交番で道を尋ねるのも、泥棒を捕まえてもらうにも有料となる。 など

アニメを見た後、子供たちは「〇〇さんの人生物語」を例として、税金には、所得税、消費税など50種類ほどあることや、誰が、どこで管理しているかなど税金の仕組みについて学びました。

また、税金の使い道については、学校を例にしてお話をしてくださいました。学校には、いったいどのくらいのお金が使われていると思いますか？

学校を新たに一つ作るのにかかるお金は、校舎の建設費に約13億円、体育館に約2億円、プールに約1億円かかるそうです。建物以外にも子供たちが勉強をするために税金が使われています。

小学生が、学校で勉強するために使われている税金は、一人あたり、1年間に約88万5千円です。登校日は約200日ですので、1日あたり、約4,500円です。卒業までに使っている税金は、6年間で約531万円です。中学生は、3年間で約312万円、高校生は、3年間で約294万円です。小学校に入学してから高校を卒業するまでの12年間に約1,140万円の税金が使われていることとなります。

1,140万円は、お家の方々を含めた、国民全体で支払ったお金が使われています。言い換えれば、国民みんなの思いやりによって、勉強ができていくといっても過言ではありません。今回の租税教室も税金で賄われています。子供たちは、税金を無駄にすることなく、一生懸命に学習をしました。



現金1億円(約10kg)※見本